

ゲノム編集産物(遺伝子操作食品)が 日本の食卓をおおうのか?

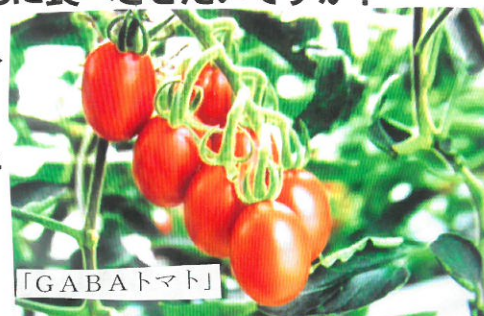
「週刊金曜日 9/17号・10/15号」天笠啓祐さんの報告文から引用して作成しました

あなたは「遺伝子組み換え食品」を積極的に食べますか?

「ゲノム編集食品」を積極的に食べますか?子どもに食べさせたいですか?

《日本で初めてゲノム編集食品の販売が始まりました》

ゲノム編集食品として日本で始めて販売が始まりました(2021年9/15から)。昨年12月に厚労省に届出した筑波大発ベンチャー「サナテックシード」が開発した「GABAトマト」です。5月から一般に向けて苗の無償配布をはじめていましたが、ベンチャーの親会社「パイオニアエコサイエンス社」による販売です。2021年9月～2022年6月にかけて約40tの収穫見込みで、年内には“トマトプーレイ”を販売するとのこと。GABAトマトの価格は3kgで7506円としています。通常のカットトマトは150g200円(3kgで4000円)、有機トマトより高い価格設定です。



《食の安全は?》

GABA トマトはゲノム編集技術でグルタミン酸脱炭酸酵素遺伝子の一部を壊してGABAの含有量を増やしたもの。GABAは血圧を下げる物質で健康食品という売込みだとのこと。

しかしこのトマトに関して①環境への影響を評価する試験も②食品としての安全性を確認する試験も行われていません。③GABAを増やしたことでさまざまな変化がトマトに起きているはず。だがそれについての報告もない。④また子どもや妊婦がGABAを過剰に摂取した際の影響も考慮されていない。

こんなことでいいのだろうか?

《ゲノム編集による種子の支配》

いま国内外でゲノム編集作物の栽培が本格化している理由は、遺伝子組み換え(GM)作物のような規制がなく(食の安全性チェックなし・自然環境への影響評価なし・表示義務なし)、しかもGMのように“特許”を取得できるので種子を支配できるからとのこと。



《“肉厚真鯛”市場化へ》

「肉厚マダイ」 京大広報誌より

ゲノム編集による食物研究が広がる中、今年9/17 京都大学発バイオ企業「リージョナルフィッシュ社」が肉付きをよくした“肉厚マダイ”をゲノム編集食品として国に届け出ました。

ゲノム編集で肉の成長を抑制する遺伝子「ミオスタチン」の動きを壊したもの。「ゲノ

ム編集技術は特定の遺伝子を壊す技術で、“成長抑制して体の調整を図る遺伝子”を壊して肉厚のマダイに改造した。生物はバランスや調和で成り立っており、それらが壊れると病気や障害が起きる。だからこの肉厚マダイは意図的に障害をもたらした魚といえる」と天笠さんは警告を発しています。

《ゲノム編集の拡大と市場化の動き》

魚類では「肉厚マダイ」のほかに「養殖しやすいマサバ」「おとなしいマグロ」「肉厚とらふぐ」といったゲノム編集の魚が各研究所で開発中。

農作物では「GABAトマト」のほかに「シンク能改変稲」「有害物質ソラニンなどを含まないジャガイモ」「種子休眠期間を延ばした小麦」「日持ちメロン」など農研機構や各大学の研究所で開発中です。

天笠さんは問題点を指摘します。

「ゲノム編集技術のもたらす問題点は多く、そのほとんど安全性が研究されていないまま市場化されている。遺伝子は生命活動の基本であり、どれも大切なもので壊してよい遺伝子などはない。又、標的以外の遺伝子が破壊される「オフターゲット」がおきやすいのです。」「このようにとても食品に応用できる技術でないにもかかわらず開発が進んでいる。その先頭の立っているのがバイエル社などの多国籍農薬企業と日本の研究者とベンチャー企業・・・」と。

ゲノム編集への世界的動きの中、オーストリア・ポーランドなど EU メンバー国とスイスの研究者が科学誌「バイオテック」誌に“ゲノム編集技術を応用した食品の安全性は遺伝子組み換え食品と同様の評価を行うべき”という論文を発表しました。

《鎌ヶ谷市は?》

鎌ヶ谷市はこれまで市民からの「ゲノム編集の食材を学校給食で使わないでください」といった要望に対し「学校給食にゲノム編集の食材を使わないとは言えない」という回答でした。

GABAトマトも流通し始めます。肉厚マダイも流通真近です。鎌ヶ谷市は遺伝子組み換え食材は学校給食に使わないと表明しているのですから、遺伝子操作のゲノム編集食品の食材を学校給食には使わないとはっきり表明して欲しいものです。

子ども達に安全で安心できる食材をおいしく食べてもらいたいからです。

日本の今の有機農産物の定義では遺伝子組み換え、ゲノム編集作物では有機とはいえません。有機農産物・オーガニックが世界の潮流です。でも日本の今の流れでは“ゲノム編集の種苗による有機農法”などになりかねません。市民の声で“食料主権”と“食の安全”を獲得していきましょう。



「肉厚とらふぐ」 京大広報誌より



クリスパー・キャス・ナインの図示

